

「公共工事コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【3】 民間技術の積極的な活用 施策12】

セラミックス製ボディ管の採用によるコスト縮減

事業名：平成20年度 1号長沼電線共同溝工事 他4件

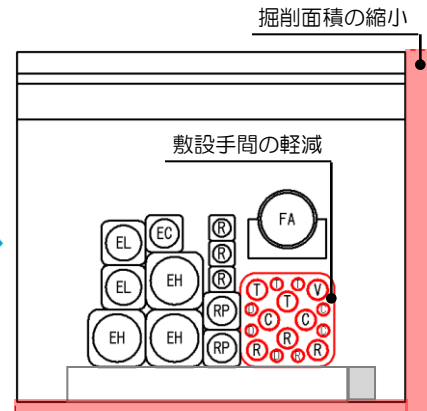
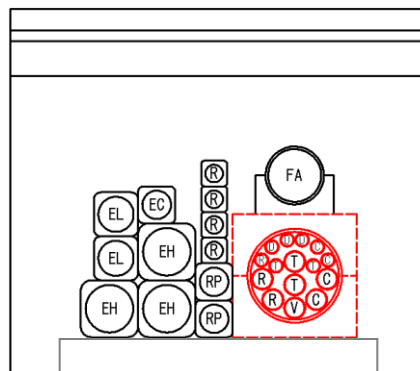
概要：【従来】硬質塩化ビニル製ボディ管 ⇒ 【新】セラミックス製ボディ管

効果：

- 従来硬質塩化ビニル製のボディ管にかわり、コンパクトなセラミック製のボディ管を採用し、掘削面積の縮小や敷設手間の軽減により工事コスト改善を図った。
- 工事費（延長約2,700m）を**136百万円**から**102百万円**に改善。
（改善額 34百万円 改善率 約25%）



施工イメージ



施工イメージ

従来：硬質塩化ビニル製ボディ管

新：セラミックス製ボディ管